

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-1
学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

教育庁総務課長 仁科 慎治郎

電話番号

0852-22-5407

事務事業の名称	「しまね教育の日」推進事務	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	県民一体となって本県教育の課題を解決していきけるような機運を盛り上げるためにさまざまな取組を行う。
事業概要	「しまね教育の日」の趣旨にふさわしい取組として、教育フォーラム等の「しまね教育の日」関連行事を開催。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数（延べ数）	目標値		425,000.0	425,000.0	425,000.0	425,000.0	人
	式・定義	達成率＝「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数（実績値）／（目標値）×100	取組目標値						
			実績値	424,664.0	418,456.0	415,202.0			
			達成率	－	98.5	97.7	－	－	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	－	－	－	－	－	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	655	720
うち一般財源 (千円)	655	720

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成29年度「しまね教育の日」にちなんだ活動への参加者数：415,202人（前年度418,456人）
平成29年度「教育の日フォーラム」の参加者数：約200人（前回（H28）：約150人）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

「しまね教育の日フォーラム」の開催日を休日とし、会場をサンラポールむらもからくびきメッセに変更した結果、参加者が約1.3倍増加した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

「しまね教育の日」の中心的な取組として開催している「教育の日フォーラム」について、開催日及び開催場所を見直したことで参加者が増加したが、学校、家庭、地域、行政が一体となり、教育に対する県民の意識を高め、本県教育の充実と発展を図るためには、教育関係者に限らず、さらに幅広い者の参加を促す必要がある。

②困っている状況が発生している「原因」

一般県民への周知が開催1ヶ月前であること、また、一般県民への周知方法が県ホームページ及び記者発表のみであるため、一般県民のフォーラム開催の情報へのアクセスが限られている。

③原因を解消するための「課題」

一般県民がフォーラムの開催情報にアクセスしやすくなるよう、周知時期及び周知方法を見直す必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

「教育の日フォーラム」について、教育関係者だけでなく、より多くの一般県民が興味を持ち、参加してもらえるよう、引き続き休日開催とするとともに、周知時期を早め、周知方法を工夫する。